

美作局管内の主な農福連携(生産品目・作業内容等)

| 品目 | 作業内容 | 時期 | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | |
| キュウリ | 選果場で箱折り、箱詰め | | | | | | | ● | | ● | | | | 7月~9月 |
| 白ネギ | 選果場で根切り、拭き取り | | ● | | | | | ● | | | | | | 7月~2月 |
| 栗 | 収穫 | | | | | | | | | | | ● | | 10月 |
| | 座切り | | | | | | | | | | ● | ● | | 10月~11月 |
| ナス | 選果場で選果作業 | | | | | | ● | | | | ● | | | 6月~10月 |
| ブドウ | 新梢管理 | | | | | ● | | | | | | | | 6月 |
| | 袋詰め | | | | | | | | | | ● | | | 9月 |
| ブロッコリー | 選果場で選果作業 | | | | | | | ● | | | ● | | | 8月~10月 |
| | 収穫 | | ● | | | | | | | | | ● | | 11月~2月 |
| イチゴ | 選果場で選果作業 | | | ● | | | | | | | ● | | | 10月~3月 |
| イチゴ | プランターへの土入れ | | | | | | | ● | | | | | | 8月 |
| 黒大豆 | 播種 | | | | | | ● | | | | | | | 6月 |
| モモ | 袋掛け | | | | | | ● | ● | | | | | | 6月~7月 |
| コンニャク | 植え付け | | | ● | | | | | | | | | | 4月 |
| サツマイモ | 植え付け | | | | ● | | | | | | | | | 5月 |
| | 収穫 | | | | | | | | | | | ● | | 10月 |
| ササゲ | 収穫 | | | | | | | | ● | | | | | 7月 |
| トマト | 下葉かき | | | | | | ● | | | ● | | | | 9月~6月 |
| 稲 | 苗箱運搬 | | | | ● | | | | | | | | | 5月 |
| 枝豆 | 袋詰め | | | | | | | ● | ● | | | | | 7月~8月 |



農福

それぞれの悩みが
それぞれのメリットに。

農家・農業法人

障害者就労施設

農福連携に関するお問い合わせ先

岡山県農福連携サポートセンター

岡山市北区南方2丁目13-1
岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館1階

TEL 086-222-0300

FAX. 086-226-0155

受付時間/平日9:00~17:00

<https://okanoufuku.selpokayama.com/>

農福連携のすすめ **農福**

それぞれの悩みがそれぞれのメリットに。

令和6年3月発行
 <発行>岡山県美作県民局
 <本誌に関するお問い合わせ先>
 岡山県美作県民局健康福祉部福祉振興課
 津山市椿高下114
 TEL.0868-23-1298 FAX.0868-23-6129

美作県民局管内の障害者就労施設を紹介する冊子です。

フクシル ~農業との連携に向けて~

農福連携のすすめ



農福連携とは



社会参加や工賃向上を目指す「障害者側」と、高齢化等に伴う人手不足に課題を抱える「農業者側」とが、互いに協力しあうことで双方にメリットをもたらす取組です。
農福連携の形には、社会福祉法人等が自ら農業を行ったり、農業法人を別途立ち上げ併設する「福祉主体型」、農業者が障害者を雇用したり、事業所を別途立ち上げ併設する「農業主体型」などがあります。
当パンフレットでは、障害者就労施設が作業請負の形で、農業者のところで農作業を行う「連携型」での取組事例を紹介します。

仕事をお願いしたいが
どうすればいいか
わからない

農業者

岡山県
サポートセンターが
マッチングの
お手伝いをします

障害者 就労施設

仕事を受けてい
できる仕事か
どうか不安



サポートセンター 相談後の流れ

1 現地説明会

近隣の障害者就労施設（指導員）に対して「現地説明会」を行います。

2 体験会

障害のある方ができる作業かどうか「体験会」を行います。

3 請負契約

「この作業ならできる！」
「これなら任せたい！」と
両者が納得すれば「請負契約」を結びます。

障害者就労施設として農作業の経験がありませんが、農福連携に取り組むことができますか？

農作業は植え付け、収穫、袋詰めなど種類は様々で、障害の程度や作業能力に応じて取り組むことができます。サポートセンターでは、障害者就労施設の指導員を対象にした研修（農福連携指導者養成研修農業コース）も実施しています。研修を受講して農業経験を積むことも可能です。

参加できない日もありますが大丈夫ですか？

農作業は収穫時期や草刈り時期など、スポット的な依頼になります。複数の事業所に対応することもあるため、ローテーションを組んで可能な日だけ行くこともできます。

Q 作業の説明・指示をうまく理解してもらえないか不安です。

A 障害者就労施設の担当職員（職業指導員など）が作業場に同行し、説明・指示を行います。事前に農業者と十分打合せの上、現場に赴き作業を確認します。ただし、施設利用者とのコミュニケーションをすべて指導員任せにするのではなく、積極的に声をかけし、感謝の意を伝えるなどしてもらえば就労意欲も高まります。

Q 作業の対価（報酬）はどのくらいですか？

A 報酬額は障害者就労施設との交渉により決められます。その上で、農作業に関する請負契約を締結し、請負報酬を支払うことになります。作業単価は時間給より作業量に応じた金額設定が主流です。ただし、A型事業所では少なくとも最低賃金以上、B型事業所では工賃向上に寄与する作業単価が望まれています。作業の習熟度によって作業単価を見直すこともご検討ください。サポートセンターにご相談いただくこともできます。

農業者のメリット

労働力の確保

作業効率の向上

地域への貢献

障害者就労施設のメリット

障害の程度や
作業能力に応じた
仕事の確保

新たな作業分野の
開拓

工賃向上

社会参加



農

晴れの国岡山農業協同組合
津山東部アグリセンター

岡山県津山市野村735-1
TEL.0868-29-2911

福

社会就労センター
さくらワークヒルズ(B型)

岡山県津山市勝部563
TEL.0868-31-3221
<https://kyoueikai.okayama.jp/>

作業内容 ブロッコリーの出荷前に見た目などを調整する作業

- ①ハサミで不要な葉を切り落とす
- ②包丁で茎を切り揃える

作業時期 作業時期:10月中旬~3月中旬
作業時間:事業所の都合に応じて設定
(9:30~15:00、10:30~12:30など)

報酬算出方法 切り落とした茎の数で作業工賃を算出
1玉あたり早生7円、晩生9円が目安

作業上の工夫



- 以前は障害者就労施設の方も、一般のアルバイトと同じ選果ラインで作業をしていたが、令和5年度にラインを増設し作業ラインを分けた。作業スペースが広がったことで、来られる人数も増え、より多くの量をお願いできるようになった。
- 時間や処理量の指定(ノルマ)は設けない。
- 繁忙期は事業所でローテーションを組んで事前に計画表を作成。令和5年度からLINEグループを作り、ブロッコリーの集荷状況などを伝えている。

- 丁寧な作業と「来た時よりもきれいに」を心がけている。円滑に作業するために作業人数を増やし、農業に取り組める人を育成。その結果、当初は利用者3名で取り組んでいたが、現在は農業に興味のある10名ほどで農福連携の作業に取り組めるようになった。
- 作業のうち、切った茎の個数を数えやすいように、事業所からケースを持参。
- 農協が写真入りのマニュアルを作成して下さっていたため、利用者へ視覚的にわかりやすく説明することができた。



農  **福**

抱えていた **課題** 開始の **きっかけ**

農福連携への **不安要素** 開始の **きっかけ**

ブロッコリーの作付増加に伴い取扱量が増加する一方で、選果場の労働力不足に困っていた。今まで働いていた方も高齢化で来られなくなり、季節雇用であるため募集も難しく、安定した人員の確保が課題であった。農福連携サポートセンターに相談し、現地説明会を開催後、作業委託した。

農作業をするのは初めてであり、暑さ寒さに対応できるかといった体力面、危険な作業や機械操作などの技術面、職員が現場を抜けることによる人員不足、利用者の取組意欲、求められる作業量や質、作業頻度などの心配があった。農福連携サポートセンターが行っている「現地説明会」に参加したことをきっかけに工賃の向上と、新しい作業分野の開拓のため令和5年度から取組をスタート。

農業者の声



やはり労働力として頼りにできることが大きいです。作業量の見当が付くため計画を立てやすいです。来られる曜日が限られてはいますが、複数の事業所でローテーションできれば毎日作業を委託できます。一方で、閑散期は一日の作業量が安定せず、作業の有無を直前で連絡することがある点は申し訳なく思うことも…。なるべく前日に判断し連絡するようにしています。

難点としては、土日祝日は来られないこと。休日関係なく作業があるため、来てもらえない日は作業が大変ですが、それほど頼りにしています。

みなさん、きっちり丁寧に作業してくれるので助かっています。
(綾部 裕二郎さん)

事業所の声



良かった点は、農業者の農福連携への理解が得られていることです。不安要素もありましたが、実際に行なってみて農業もやり方によっては幅広く関わることができることを知りました。

何より利用者の「やりがい」になっていること、障害特性に合わせた作業内容と強みを生かせることは良かった点です。利用者からも「慣れてきたら作業スピードが上がり、楽しく作業することができている」「農福連携の作業に行きたい」という声が上がりました。大変だと感じることも喜びが大きくなり、これからも積極的に取り組んでいきたいです。
(サービス管理責任者 西山 晃匡さん)



農

小原農園

岡山県苫田郡鏡野町下原1016
TEL.0868-54-3727
<https://r.goope.jp/oharatomato/>



福

就労継続支援B型事業所
らくがき

岡山県津山市国分寺126-12
TEL.0868-32-8707

農



福

作業内容

トマト水気耕栽培の下葉かき作業

- ① 収穫部位より下の無駄な古葉をできるだけ茎に近いところでハサミで切る
- ② 切った葉を集めて軽トラックへ運ぶ
- ③ 清掃作業

作業時期

作業時期: 9月~6月下旬
繁忙期は4月~6月、11月~12月
作業時間: 事業所の都合に応じて設定(10:30~12:30など)

報酬
算出方法

葉かきをした列の数(1列50m)で作業工賃を算出

作業上の工夫

農



- ややこしいことはなくすということを意識している。細かい指示のないように、作業を単純化している。例えば、「この高さから下の葉で、トマトがついているものは残す」というような明確な指示を心がけている。
- 最初に「下葉かきをした列」をつくり、作業の見本として実物を示している。いつでも見られるところに、作業の手順書を掲示。
- 事業所のための休憩所を整備中。
- 複数の事業所との日程調整が簡単にできるようLINEグループを作っている。

- 利用者ができないと決めつけず、まずは作業をやってもらい利用者のスキルを見極めて適材適所で配置する。
- 刃物を使う作業であるため、指導員や上達した利用者とはペアで取り組むこともある。
- 利用者同士で「どうやったら作業スピードが上がるか」を考え、教えあいながら取り組んでもらっている。

福



農業者の声



現在は主に4つの障害者就労施設に作業をお願いしています。結果として作業期間の空きがなくなり、作業している箇所とそうではない箇所のかたよりがなくなり、一気にきれいになって助かっています。また、下葉かきの作業を障害者就労施設の方にしてもらうことで、従業員が誘引や芽かきなど、他の作業に集中できてありがたいです。今後はパッケージのシール貼りなど他の作業依頼も検討しています。(小原 恒亮さん)

事業所の声



利用者には難しいだろうと思っていたことも、本人のやる気次第でできる作業が増え、スキルアップにつながっています。利用者それぞれで葉かきの担当箇所が決まっているため、責任感を持って意欲的に取り組んでいます。取り組む前は不安もありましたが、利用者も「楽しかった。また行きたい」と言っていて、楽しみながらできているので、とてもよかったです。結果として、工賃の向上にもつながりました。夏には、小原農園からもらったトマトを使ってロールケーキを作りましたが、とても好評でした。今後も1年を通して農福連携の作業に取り組んでいきたいです。(管理者 平尾 奈津子さん)

抱えていた
課題開始の
きっかけ

パートで働いている方は、扶養に入っている方が多く時給が上がることで勤務時間を減らす必要が出てくるため、人手不足に陥っていた。農協から農福連携の提案があり、農福連携サポートセンターに相談し、現地説明会および体験会を経て実施に至った。

農福連携への
不安要素開始の
きっかけ

農業者が求めているスピードでできるかどうか、農業者の期待に応えられるかがとても不安だった。新しい作業を探していたときに、県民局から農福連携の提案があり、現地説明会に参加したことがきっかけ。